

よわあい広場

337号



国家公務員共済組合連合会

平塚共済病院

〒254-8502 平塚市追分 9-11

患者専用ダイヤル 0570-000-223

病院代表電話 0463-32-1950

<https://hrt.kkr.or.jp/>

令和8年2月15日 発行



Photo by S.H



■基本理念

患者が安心して、地域から信頼される病院を目指します

■基本方針

- ・安全で質の高い医療を提供します
- ・患者の視点を大切に、多様な立場の方にも配慮します
- ・プライバシーを尊重し、医療情報を適切に扱います
- ・地域医療支援病院としての役割を果たします
- ・健全な経営を維持し、必要な医療設備を整えます
- ・職員が働きやすく、活力ある病院を目指します

■患者権利・患者責務

患者と医療提供者が信頼関係に基づき協働して医療を実践するために、患者権利と患者責務を以下に示します。

<患者権利>

I 基本的権利

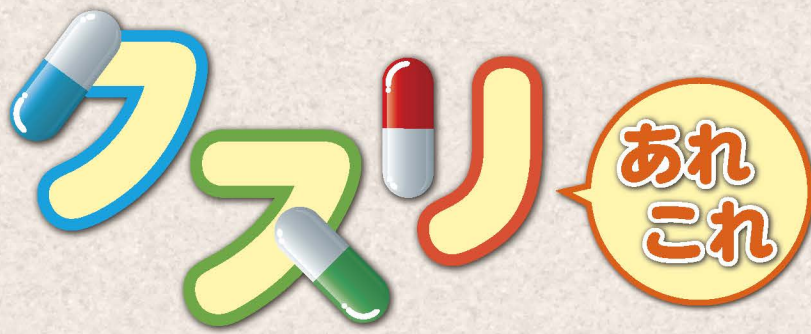
全ての患者の意思が尊重され、主体的に医療に参加し適切な医療を受ける権利

II 医療における権利

- ・検査や治療を選ぶ権利
- ・十分な説明を受ける権利
- ・可能な限り意思決定に関与する権利
- ・医療の内容を知る権利
- ・尊厳とプライバシーが守られる権利
- ・セカンドオピニオンを求める権利

<患者責務>

- ・自身の健康に関する出来るだけ正確な情報提供
- ・医療に関する主体的な希望の伝達
- ・説明に対して十分納得した上での医療への参加
- ・病院規則の理解および協力
- ・暴言や暴力行為の禁止
- ・受けた医療に対する医療費の速やかな支払い



薬とアルコールについて

今回は薬とアルコールの関係についてご紹介します。

服用した薬は小腸で吸収され、全身に運ばれる前に肝臓に集められます。この時、一部の薬は肝臓の酵素により代謝されて効果を失います。肝臓での代謝を免れた薬が全身へ送られて効果を発揮します。このように服用した薬は肝臓を通してから全身に運ばれていきます。

アルコールも同じように肝臓で代謝されて無毒化されますが、この時同時に薬を服用するとどうなるのでしょうか。

アルコールを大量に飲むと肝臓の機能はそれだけで限界になります。

本来代謝されて効果が減る薬が肝臓での代謝をほとんど受けずに素通りになってしまいます。すると薬の効果が強くなりすぎて副作用が生じる可能性が高くなります。(逆に効果が弱くなる薬もあります)

ビール 500ml 分のアルコールを分解するには、3 時間程度かかると言われておりますが、個人差がかなり大きく、6～8 時間経ってもアルコールが抜けない方もいます。薬とアルコールは同時に摂取せず、アルコールの影響が無くなってから薬を服用するようにしましょう。

1 日 1 回の薬など効果が長く続く薬を服用されている方はお酒を控える方が無難です。いずれにしてもお酒の飲みすぎは健康に悪影響を与える恐れがあるので控えるようにしましょう。

※健康に配慮した飲酒に関するガイドライン（厚生労働省）によると、節度ある適度な飲酒は、**1 日平均純アルコールで 20g 程度**と定義されています。**アルコール 20g は「ビール (5%) 500mL」「日本酒 1 合」「チューハイ (7%) 350mL 缶 1 本」「ウィスキーダブル 1 杯」などに相当します。**

また、飲酒の影響を受けやすい体質の場合には、より少ない飲酒量とすることが望まれます。

平塚共済病院

市民公開講座

アドバンス・ケア・プランニング

～みんなで考えよう、わたしの、あなたの人生会議（ACP）～

将来の医療やケアについて、元気なうちから自らの価値観や希望を前もって考え、家族や大切な人、医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有することの重要性を学び、そして備えましょう。

人生会議（ACP）を身近なものとして捉え、話し合いを始めるきっかけ作りをしませんか？



要事前申込み

QRコードからお申込みください



講師：平塚共済病院 副院長 神 靖人

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本呼吸器学会専門医・指導医、気管支鏡専門医・指導医
日本医師会認定産業医、がん治療認定医
東京科学大学医学部臨床教授、身体障害者福祉法指定医
医学博士

日 程

2026年2月27日（金） 14：00～15：30

会 場

平塚共済病院 診療研修棟 6階 大会議室

内 容

- ・講演「ACPについて（仮）」
- ・「もしバナゲーム」体験会 など

参 加 費

無料 どなたでも参加できます

定 員

60名（先着順）

主 催：国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院 広報委員会・臨床倫理委員会
共 催：平塚市在宅医療・介護連携支援センター

問合せ：0463-32-1950（代表）

第10回慢性腎臓病（CKD）教室

令和8年3月18日（水）14時～15時30分

臨床研修棟6階大会議室 13時30分入場開始

定員

先着30名

- 健診から始まる慢性腎臓病予防
腎臓に関連する検査値の見方・ポイントを紹介！

医師 西田 秀範

- 腎臓を守る減塩の話
～おいしく食べる方法を知ろう～
管理栄養士 大谷 純子

- 腎臓を守るための生活とは
看護師 小林 洋子



対象

慢性腎臓病に興味がある方または、慢性腎臓病の方やそのご家族



申込・お問い合わせ

受付時間：平日 9：00～17：00

電話：0463-32-1950（事務局）

※ 土日・祝日の受付はお休み

※ 参加費・駐車場料金は無料



お願い

- ・ マスクの着用にご協力ください
- ・ 発熱や体調不良の方の参加はご遠慮ください
- ・ 採血、尿検査の結果をお持ちください

